

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和2年度 第1回佐渡市博物館協議会
開催日時	令和2年9月28日(月) 13時30分開会 15時30分閉会
場所	佐渡市教育委員会 2階 第3会議室
議題	(1) 令和元年度佐渡学センターの事業報告並びに決算報告について (2) 令和2年度佐渡学センター事業の中間報告について (3) (仮称) 佐渡市博物館ビジョンについて (4) 相川郷土博物館耐震基本設計について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	○佐渡市博物館協議会委員 会 長 池田 雄彦 副会長 池田 哲夫 委 員 伊藤 窠一 加藤 恭子 萩野 正作 大屋 柳平 伊藤 正一 前野 貢 ○事務局 (教育委員会 社会教育課 佐渡学センター) 教育長 渡邊 尚人 課 長 市橋 秀紀 館 長 濱崎 賢一 係 長 中田 雄一郎 主 任 石渕 裕作 学芸員 五十嵐 麻湖 学芸員 平野 黎
会議資料	資料No. 1 令和元年度佐渡学センター事業報告 資料No. 2 令和元年度佐渡学センター決算報告 資料No. 3 令和2年度佐渡学センター事業中間報告 資料No. 4 (仮称) 佐渡市博物館ビジョン (案) 資料No. 5 御料局佐渡支庁跡の整備について
傍聴人の数	0名

備考	
----	--

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
濱崎センター長	1 開会 および傍聴の確認、会議成立の確認。
渡邊教育長	2 あいさつ
委員・事務局	3 自己紹介
濱崎センター長 加藤委員 濱崎センター長	4 佐渡市博物館協議会会長・副会長の互選について 佐渡博物館協議会会長、副会長の互選についてということになりますが、どのようなかたちで取り扱いをしたらよろしいでしょうか。 事務局一任で、いかがでしょうか。 事務局の一任とありましたので、事務局案としましては、池田雅彦先生を会長に、副会長には池田哲夫先生をと考えておりますがみなさまどうでしょうか。 （「異議なし」の声あり。） 異議なしとの事ですので、よろしく願いいたします。 それでは議題の方に入っていきますが、司会進行については、会長の方からとなっておりますので、よろしく願いいたします。
事務局 池田会長 伊藤（正）委員 濱崎センター長	5 議題 （1）令和元年度佐渡学センターの事業報告並びに決算報告について 資料1及び資料2に基づき、説明。 質問、意見等ございましたらお願いいたします。 博物館運営以外に文化財団補助金等が事業報告で出てきますが、博物館協議会に諮る内容なのですか。 佐渡博物館の博物館協議会については、博物館長の諮問機関という事であります。私の場合は、博物館長でもあり、センター長でもありますので私が行っている事業の意見をいただきました

	<p>いということもあり、博物館運営以外の業務についても一応事業報告させていただいた次第です。</p>
池田会長	<p>私どもは博物館の運営事業に関する事、博物館の連携活動の推進または調整に関する事、特にここを重点にこの後ご意見等お願いできればと思います。</p> <p>事務局の方は、出来るだけすっきりした予算書その他も工夫していただければと思います。</p>
池田哲夫委員	<p>入館者の数が出ていますが事務局としてはどう分析されていますか。</p>
濱崎センター長	<p>分析という分析はしておりません。</p> <p>しかしながら、例年入館者数が減っているということは明らかですので、今年度は、入館者が増えるような形の内容を取り組むべく進めているところです。</p>
池田哲夫委員	<p>私が知りたいのは、学校、地域社会とどう連携しながら運営しているのかということをお教えいただきたいです。</p>
平野学芸員	<p>学校との連携についてですが、出前授業の計画を今年度考えており、学校の校長会の方にも資料を提出しています。</p> <p>また、博物館出前講座についてのチラシを各学校に配りまして、博物館の利用の方をアピールしているところです。</p>
池田会長	<p>学校関係についてですが、具体的にはどういう手立てをして学校と連携しようとしているのですか。PRの紙を配ったくらいでは効果がないと思うのですが…。と申しますのは、財団法人佐渡博物館から市立佐渡博物館になる時に、当時の甲斐市長は、地域の小中学校のために博物館を活用させるんだというようなことを柱の一つにあげていたものですから、相当の学校が利用して利用率も高かったと思います。しかし、今回の利用学校数を見ると、意外と少ないのですが学校関係で大屋先生がいるんですけど具体的に佐渡博物館の授業への活用について、率直に学校関係ではどのような受け止め方をしているのですか。</p>
大屋委員	<p>コロナの関係で、外部に出かけての学習が実施できていない状況です。</p> <p>そのため、今回このように、出前講座ということで学校のほう</p>

	<p>に来てやってくださるということで、非常にありがたいなという風に考えています。</p>
池田哲夫委員	<p>資料の貸し出しや利用状況が全然書いてないですけど、実績はなかったのでしょうか。</p> <p>また関連して、レファレンスとか電話の問い合わせ数も参考になりますので、記録しておいていただきたいと思います。</p>
五十嵐学芸員	<p>主に考古資料の貸し出し等の対応が何件かございました。決してゼロではないのですが、資料に載せていませんでした。</p> <p>また、レファレンスについては、おおむね例年月10件から15件程度対応している状態です。</p> <p>今後、事業報告に載せたいと思います。</p>
前野委員	<p>今後の博物館関係の、予算規模やビジョンみたいなものが分かったら教えてください。</p>
渡邊教育長	<p>合併から15年経ち、各博物館、資料館が老朽化しています。また、資料の整理も終わっていません。それをどのような形で整理を含め、どこを重点的に整備するのか、どの部分を特徴的なものとして見せていくのかというようなどころが必要になって来るかと思っています。</p> <p>佐渡市の財政の方からもそのビジョンがあってどのような形で進むかという事によって予算の付け方も変わってくるという事があります。</p> <p>したがって、我々としては、まずそのビジョンの方を先に作って、そして予算なり、全体の推進計画の方に進んでいきたいと考えています。</p>
池田会長	<p>博物館予算で購入した資料はありますか。</p> <p>また、運営方針のところでは各施設の資料の受入、保存管理を統一して台帳をデータベース化するとあるのですが、実際にどの程度データベース化が進んでいるのですか。</p>
五十嵐学芸員	<p>近年、博物館予算で購入した資料はありません。</p> <p>データベース化については、現在、指定文化財についてリスト化を進めており、相川郷土博物館の資料について中心に進めています。今年の8月31日の実績ですと6,204件中3,544件、確認が終了しております。相博以外にも施設が沢山ありますの</p>

	で順序よく進めて行きたいと思っています。
	(2) 令和2年度佐渡学センター事業の中間報告について
事務局	資料3に基づき、説明。
池田会長	3月から6月に特別写真展宮本常一と企画展の佐渡の化石展、これは重複しますが会場の方は、1階と2階とに分けて両方もそういう企画展でやろうとしているのか、それともどこか他の場所で行うのですか。
五十嵐学芸員	1階と2階に展示室がありますので、部屋を分けて実施します。
池田会長	佐渡博物館は総合博物館ですから、所蔵品を常時見に来たいという方もいらっしゃると思います。企画展の展示だけではなく、空間をもう少し有効活用し、工夫して展示してもらいたいと思います。
五十嵐学芸員	宮本常一写真展は、例年2階の半分を使って実施しております。そのため3月から6月については1階の展示室で化石展を、2階の展示室半面で宮本常一写真展、また2階の展示室半面で佐渡の美術工芸を展示したいと考えています。
池田哲夫委員	佐渡博にある近藤富雄さんの作品を活用しながら企画展を打つことを是非考えて欲しいと思います。 あるいは写真家の富山治夫さん、全国的に注目されたコレクション郡です。佐渡博には宝物をいっぱいあります。それをぜひ活かすような工夫をしてもらいたいと思います。 大正の終わりから昭和の初めにかけてこういうすぐれた写真家が佐渡にもいたんだという、財産をほとんど売り尽くしても、やり通したというのは、そういうことで紹介してもらいたいと思います。
池田会長	1階の企画展ですが、何のためにこれが置いてあるのか、たとえば、蠟型鑄金だと年代的に並べるとか、琢斎さんとから藍堂さんとか派系で整理する等、ストーリー性を持った展示にしていきたいと思います。
萩野委員	収蔵についてですが、佐渡には解体される家がいっぱいあります。特に相川地区に関しては、非常に貴重な資料が残っている家もありますが、今後壊すようなところが出てくると思いま

	<p>す。そういう物がいったん外へ出てしまうと収集不可能になると思いますので、文化的な資料が外へ出ないように、そしてなくならないように対策を講じていただけるようお願いいたします。</p>
伊藤（憲）委員	<p>佐渡学センター全体で、ざっと1億3千万ぐらいの予算で動いているなかで、博物館はこうあって欲しいという話は色々な方がおしゃっています。ただ、こうあって欲しいと言っても、現実の問題として、どれだけの人を張り付けられるかとか、もっとはっきり言えば、予算がついてこないと実際動けないと思います。予算措置を何とかしないと、絵に描いた餅になってしまいます。</p>
池田会長	<p>お金のない中でいかに効率的に博物館に運営をするかという非常に大事なことだと思います。 予算的措置について、事務局あればお願いします。</p>
市橋課長	<p>予算については、佐渡市全体で減っているのは確かです。 4月にここに来まして予算を見る範囲では、予算を自分たちで取りに行っていないなというのが、社会教育課については明白でした。 また、人材についてですが、学芸員二人いますけれど、キャリアがありません。今博物館としてしなければならないことは、学芸員をどうするかということ事が一番の課題だと思っています。学芸員が経験を積んで、しっかりとした事業、しっかりとした調査をすることによって成果も出てきます。 予算をとる場合には、もちろん市長の意見、また議会の意見を確認しなければいけません。単に学術的だから必要だとかそういう部分ではなかなか今予算取りにくい時代になっています。博物館が少し変わって来たぞとか、博物館こうなっているぞというのをしっかり市民の方、また議会の方に知らせる必要があるという事で、私は今この二人の学芸員にはもっと自分たちの好きなことをやれという事が一つと、彼らを教える学芸員が必要だという風に思っています。 今皆さんから見ると物足りないところがあることは十分承知なんですけれど、少しずつでも博物館を変えたいという事で、いままで博物館まつりとか、どうやったら人を集めることができるのかというところを、みんなで動いて行こうよと、経験のない中で動こうよという事でいま動いていますので、みなさん</p>

池田会長	<p>に言われた意見は十分に吸収して、次のアクションに活かしていきたいという風には思っています。また、予算については自ら取りに行くような形で動いていきたいと思っています。</p> <p>元佐渡博物館にいました羽二生はるよしさんあたり、もう少し協力してもらったらいいのではと思います。</p> <p>ああいう方々をもっと指導者としてお招きして、そのノウハウをぜひ学ばしてもらおうようお願いします。</p>
事務局 市橋課長	<p>(3) (仮称) 佐渡市博物館ビジョンについて</p> <p>資料4に基づき、説明</p> <p>今一回目の会議をやりました。その中で、ソフト面だけの話だけだったのですが、委員の中からやはりハード面とか地震の対策も含めて、今の場所でいいのか、形でいいのかという意見もいただきました。</p> <p>そういう事も含めて市長の所へも相談をしていますけれど、方向性とか計画の中にうたえれば謳いたいと考えていますので、ある程度形が作成できた段階で説明したいと思っております。</p>
事務局	<p>(4) 相川郷土博物館耐震基本設計について</p> <p>資料5に基づき、説明</p>
萩野委員 池田会長 前野委員	<p>6 その他</p> <p>経験者を使って行かないと、博物館の運営というのはなかなか難しいと思います。</p> <p>早急に友の会やOBの方を入れながらPRして予算を取ってくるということをまず考えないといけないと思います。</p> <p>みんな一丸となって、熱い連中がまだいるうちに何とかこの島の中の文化をなくさず、絶やさずいけるような形にしておく必要があると思います。</p> <p>友の会の話もありましたけれど、協力する人たち大勢いると思います。そういう人たちを上手く組織立てて、無いお金でも出来ることはあると思いますので、その辺を是非、考えていただきたいと思います。</p> <p>方針、ビジョンが漠然としていて、何時までに何をするのかという理論ではなく、概念的な理論なので、5年間のうちに何をするかとか時間軸を少し入れた具体的な方策が必要だと思</p>

	<p>ます。</p> <p>それから、どうしても市の中だけで色々なことを何かしようとしても限度があるので、提案ですが、新潟大学において佐渡を利用した教育を推進しようという計画があります。</p> <p>ビジョンの中で新潟大学が関わってくるというような事業を入れ、双方で協力し合いながら、活性化して行っていただければと思います。</p>
池田副会長	<p>7 閉会</p> <p>どうしたら活気ある博物館が作ることができるのかという、熱い議論が提示されました。これを事務局でどう受け止めていただけるか、次回の会議あるいは博物館運営に期待したいところです。</p>